

地域振興・まちづくり調査特別委員会 研究会資料

「地域産業の現状分析で政策課題を考える」

講師 駒澤大学 経済学部
教授

吉田 敬一 氏

平成30年2月20日

地域産業の現状分析で政策課題を考える

ーグローバル化時代の持続可能な地域づくりー

駒澤大学教授 吉田敬一

1. 経済グローバル化と国内産業構造変化の関係

- ①アベノミクスの下での景気動向の特質

- ②下請型産業集積と中小企業の役割変化：大田区工業を事例に

- ③大田区にみるグローバル化時代の構造転換への3つの道筋
ー大田区工業の広域化と競争力の衰退ー
 - i) 下請型からネットワーク型へ

 - ii) 大手企業の地方展開

 - iii) 自主的な小規模企業の新市場開拓

2. 中小企業集積の経済的メリットとは何か？

- ①専門特化した固有技術のアンサンブル効果

- ②フレキシブルで高度なネットワーク形成

- ③機材・工具の多様なニーズに対応するものづくりサポート機能の存在

- ④市場・技術情報へのアクセス

- ⑤資金調達の容易性

- ⑥自治体・大学・研究機関と連携したプロダクト・イノベーション能力

- ⑦地域ブランド効果

- ⑧技能者・後継者の育成・確保

★中小企業集積の綻びが製造業競争力の衰退を生み出す：ME化・AIで解決できるか？

①プロセス・イノベーションの土台としての中小企業の生産力特性

②ME化段階の技能継承と中小企業の基盤技術

③マザーマシンの法則を支える中小企業集積

④公共財としての中小企業のものづくり能力：ネットワーク力・技術伝播の土台

3. 持続可能な地域経済社会と2つの産業類型

①文明型産業（グローバル循環）と文化型産業（ローカル循環）の二本足経済づくり

②文化型産業はコミュニティづくりと老舗型企業の典型例

4. 文京区の産業政策上の課題

①地域中核企業のグローバル化支援の道とローカル循環支援の道：グローカリズムの道筋

②文京区の3つ地域特性

i) 印刷・出版・

ii) 大学・文化人・社寺＝歴史的教育・文化集積

iii “和”の生活文化地域＝谷根千ブーム＋後楽園（若者文化発信）

③地域密着型商業集積のメリット（コミュニティ・高齢化社会との関係）は何か？

④区独自の産業政策と都の産業集積活性化事業との結合

i) 都の産業集積支援事業へ参画＝首都圏の中の文京区という発想

ii) 支援企業の類型化への取り組み

Think Globally , Act Locally!
地球レベルで考え、地域に根ざした行動を！

経済・資本循環の3類型

<資金調達> ➡ <労働力・機械設備・原材料・部品調達> ➡ <生産・加工>
 ➡ <卸売・小売機能> ➡ <売上代金の還流> ➡ <再投資>

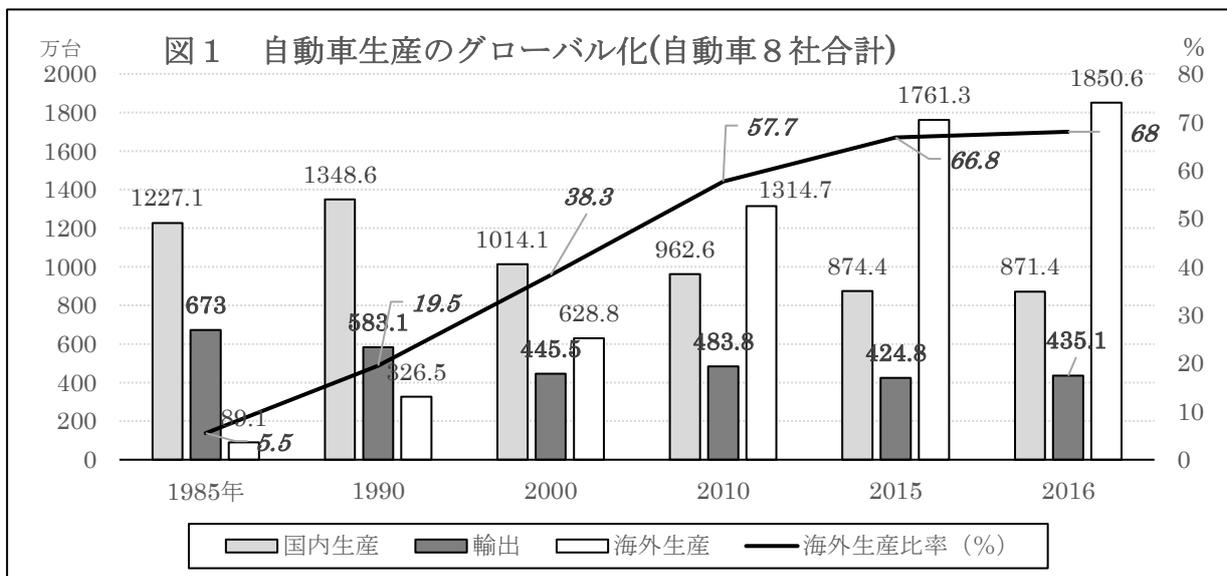
★生産・供給される製品・サービスの特性および市場規模に応じて3つのタイプに区分。

- ①グローバル循環：世界的規模での企業内国際分業構造＝世界循環
- ②ナショナル循環：国民経済レベルでの企業内地域分業構造＝国民経済循環、
- ③ローカル循環：地場産業に代表される地域単位での企業間生産分業構造＝地域経済循環
 - i) 生産と市場が地域的に限定されたタイプ（地産地消型）
 - ii) 全国的な市場ニーズを持ち、生産過程はローカル循環を基本とするが流通過程を含めた循環を考慮するとナショナル循環を構成するタイプ（地産外消型）

表 文化型産業と文明型産業のイメージ

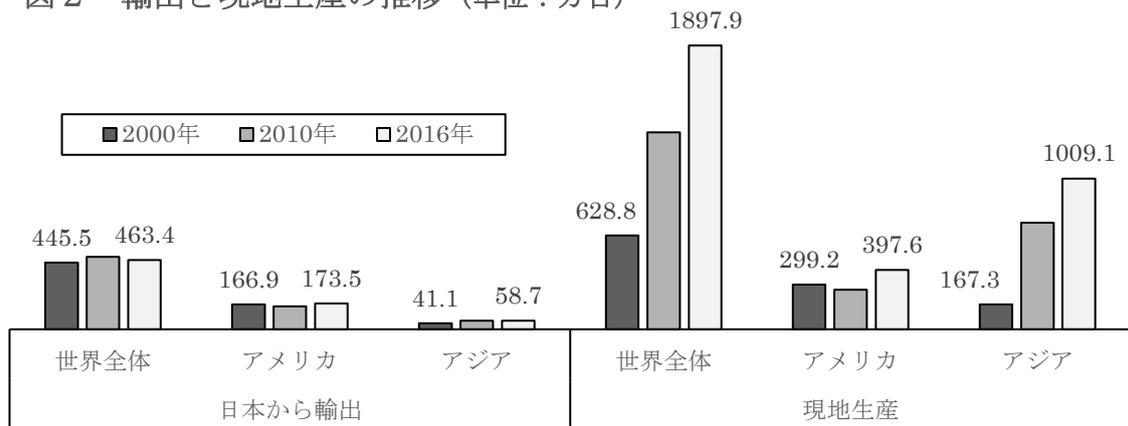
	文化型産業	文明型産業
産業部門イメージ	衣食住などの生活必需品産業	自動車・家電などの近代的機械工業
製品の機能の特性	人間の生命と生活の維持と質的充実	人間の手足・五感の機能向上
主要な素材の特徴	天然資源の活用	合成物質の開発・活用
生産力の特徴	技能・熟練の高度化	技術（機械体系）の進歩
競争力の源泉	地域生活文化と感性の独創性	科学技術・知性の高度化
中心的な企業類型	地域密着型中小企業	大企業・ベンチャー企業
社会生活での機能	自然環境・コミュニティの持続性	生活空間の快適性・利便性の向上
資本の循環形態	ローカル循環	グローバル循環
都市景観の特性	記憶を重ねる街づくり	記憶を消し去る街づくり
産業の存在意義	幸せな社会の経済基盤（GNH向上）	豊かな社会の経済基盤（GNP向上）

（筆者作成）



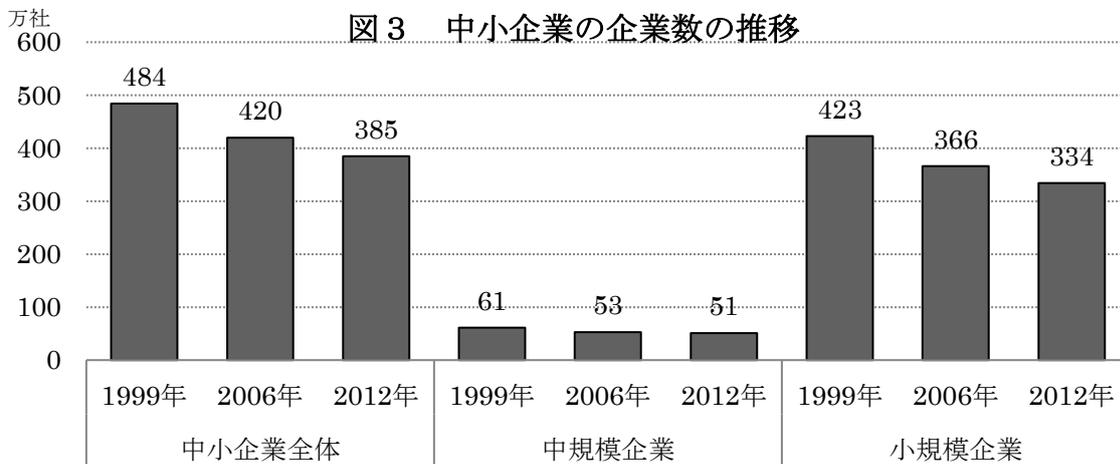
資料：「日本経済新聞」調べ。

図2 輸出と現地生産の推移（単位：万台）



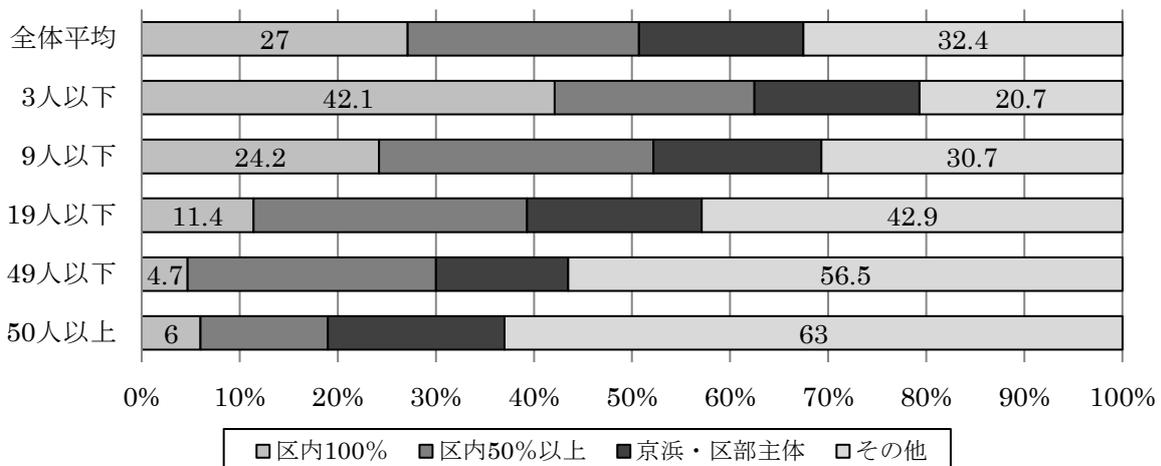
資料：日本自動車工業会「統計速報」「海外生産統計」より作成。

図3 中小企業の企業数の推移



資料：2014年版中小企業白書より作成。

図4 規模別にみた地域別外注先構成（大田区）



資料：「大田区ものづくり産業等実態調査報告書」2015年3月より作成。

図5 外注先の転廃業・移転の影響（複数回答）

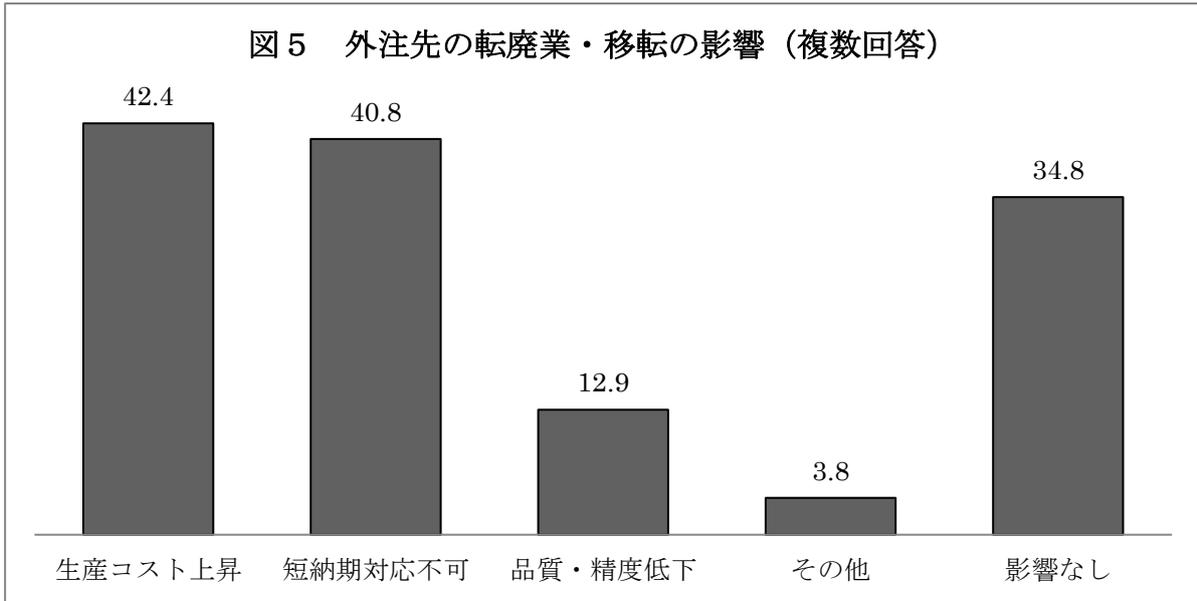


図6 工業用地の公示価格（円/㎡）の比較

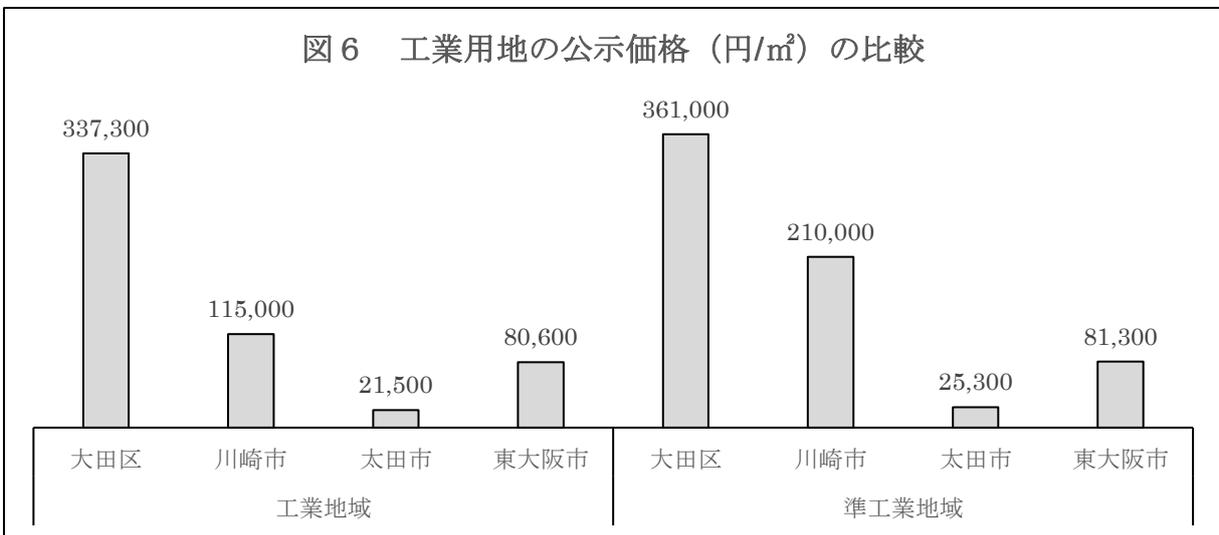
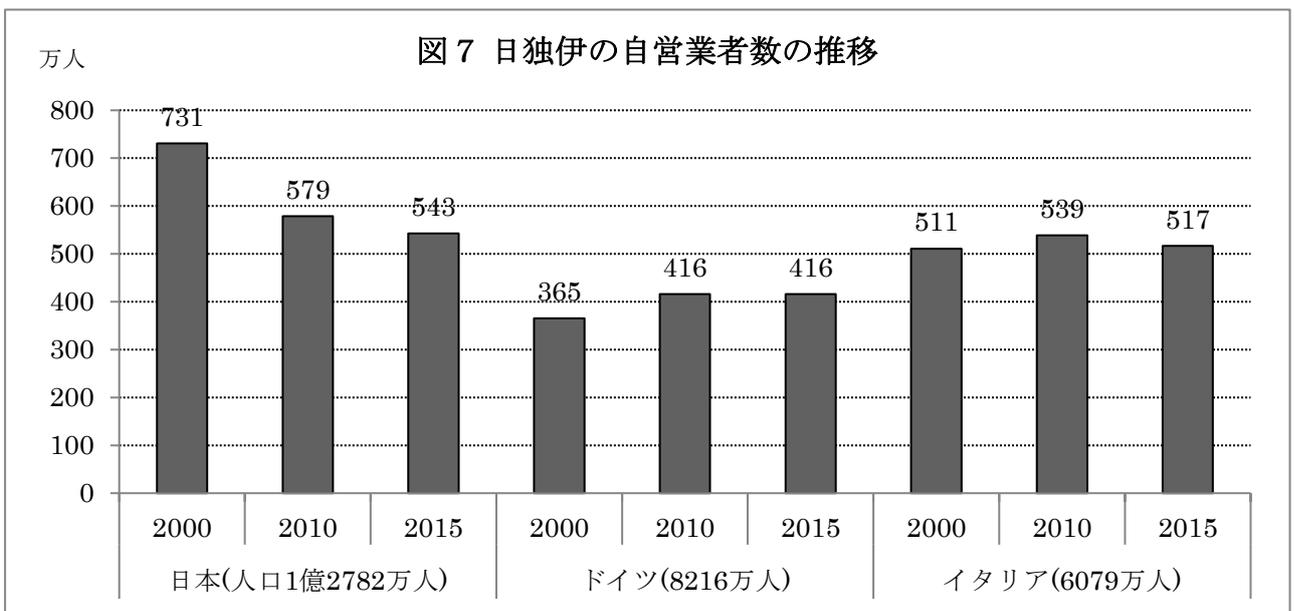
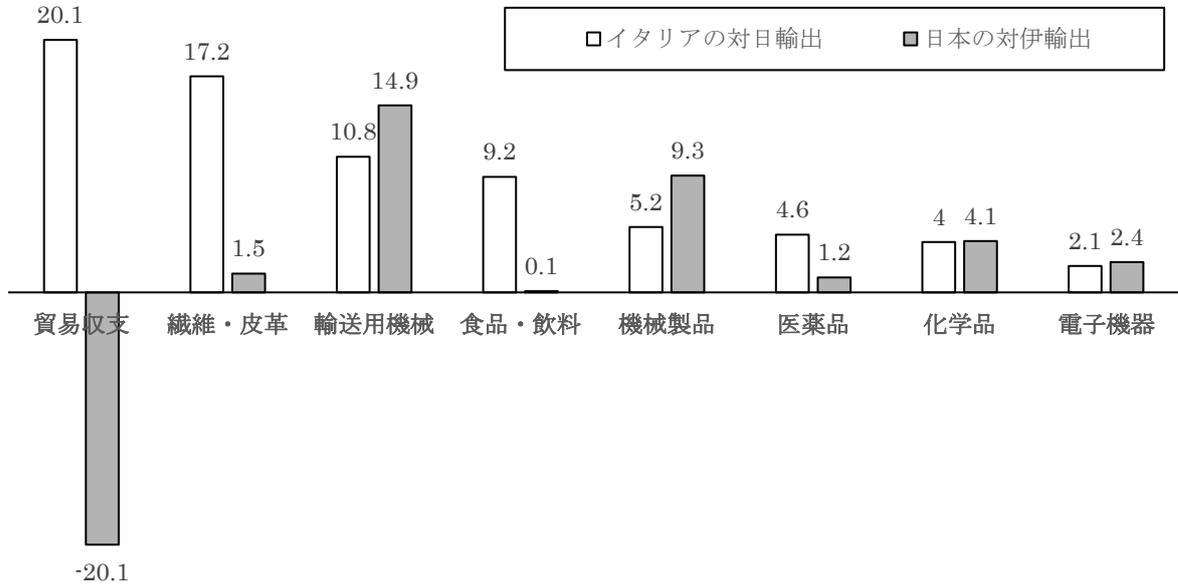


図7 日独伊の自営業者数の推移



資料：『データブック 国際労働比較』2012年版、112頁、2017年版、116頁より作成。

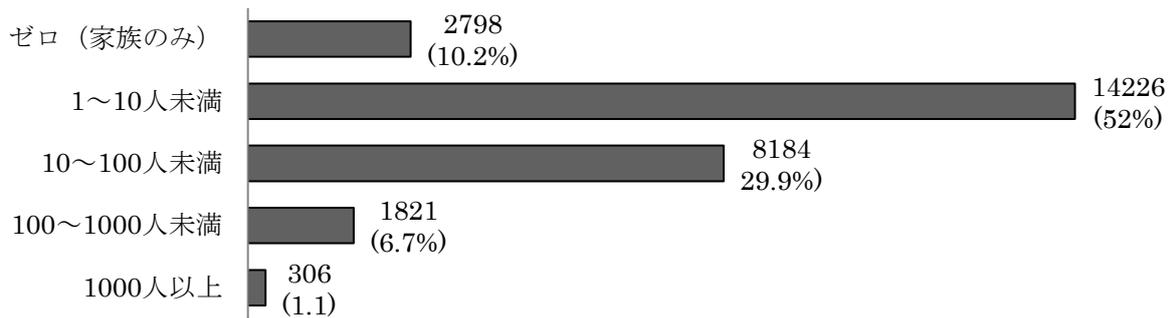
参考 2016年のイタリア・日本の貿易構造（単位：億ユーロ）



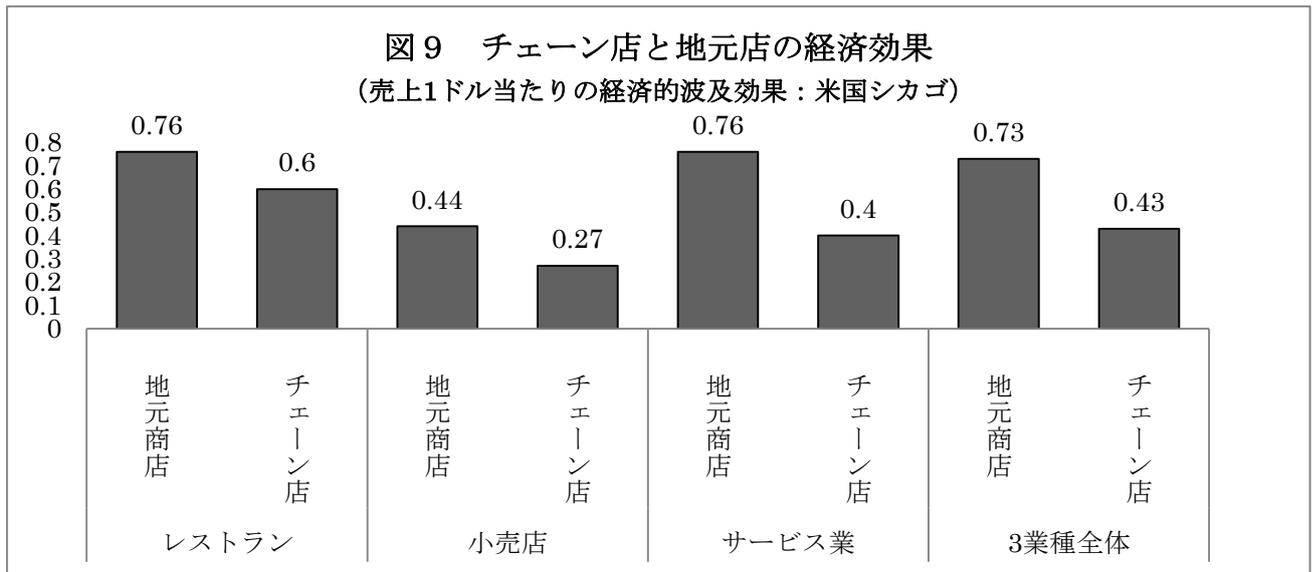
注)2016年のイタリアの貿易収支全体は輸出が4171億ユーロ、輸入が3656億ユーロで、515億ユーロの黒字。イタリアの対日輸出総額は60.3億ユーロ、対日輸入総額は40.2億ユーロで、イタリアが20.1億ユーロの黒字。

資料)『ジェトロ世界貿易投資報告』2017年版、311頁より作成。

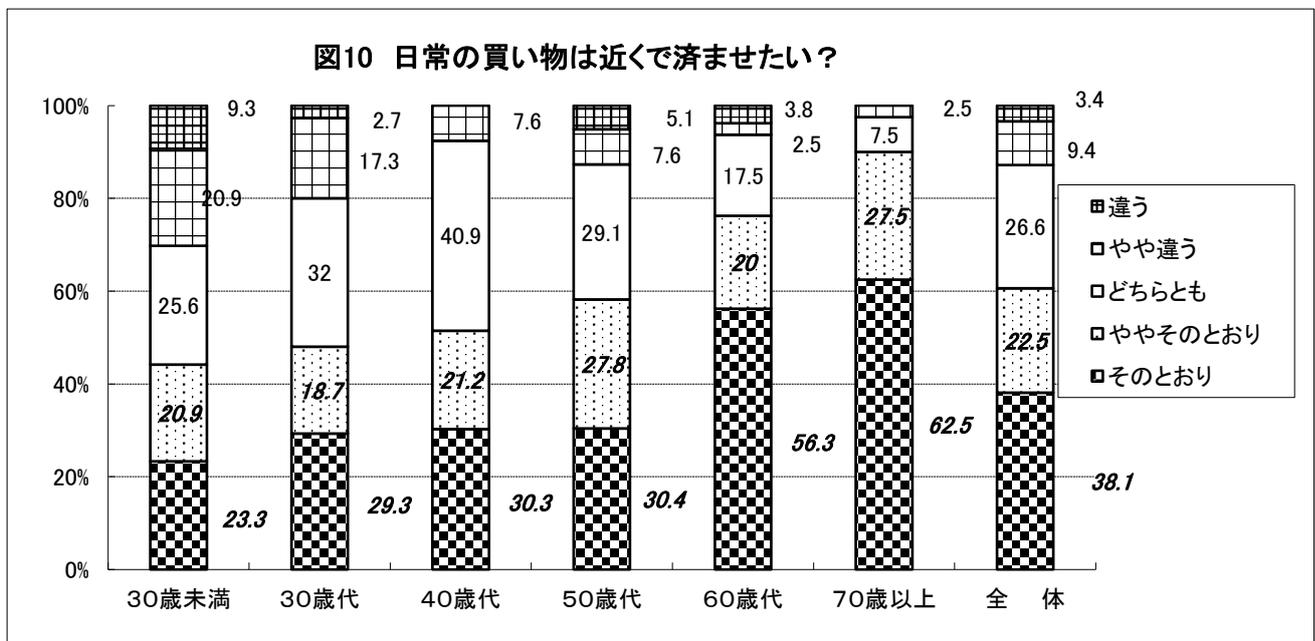
図8 従業員数規模別にみた長寿企業（2014年）
—業歴100年以上は2万7335社—



資料) 帝国データバンク「長寿企業の実態調査」2014年9月18日より作成。



資料) 矢作弘『大型店とまちづくり』岩波新書、2005年、130頁より作成。



資料) 岩崎邦彦『スモールビジネス・マーケティング』中央経済社、2004年、15頁より作成。

図 11 地域産業振興の4つの基本フレームのイメージ

